

あなたはどっち？



生活をするうえで
困っていることがある

YES
NO

地域に相談する人が
いたり、場所がある

地域のボランティアに
興味がある

A

福祉の輪を
広げましょう

B

身近なところで
相談できます

C

一緒に活動
しませんか？

D

いつでも
市民センターに
遊びにきてね

A

自治区会ごとに気軽に集えるサロンや、市民センターでふれあい昼食交流会、子ども食堂「八っちゃん家」など孤食を防ぐ活動を行っています。ぜひ身近な人をお誘いいただき楽しいひとときを過ごしましょう。

C

福祉協力員の活動をはじめ、令和5年度中に地域の困りごとを解決するためのお助け隊を立ち上げます。「できる人ができることを少しずつ」を合言葉に一緒に楽しくボランティア活動をはじめませんか。

B

身近な相談相手として民生委員・児童委員や、一人暮らし高齢世帯等を対象に見守り活動を行う福祉協力員（地域ボランティア）がいます。また、令和5年度中に市民センターに困りごと相談窓口を開設します。

D

市民センターでは福祉や健康をテーマにした様々な活動やイベントを行っています。「家にとじこもりがちだけど、はじめてだと参加しづらかなあ？」大丈夫。ふらっとのぞいて見てくださいね。

遊びにきてね！



お問合せ

ふれあいネットワーク 八枝校区社会福祉協議会

〒807-0856 北九州市八幡西区八枝 3-8-1 八枝市民センター内

TEL 093-603-1055 FAX 093-603-1056

YATSUE 2023



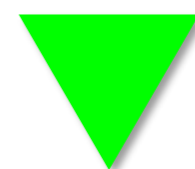
金山川の桜並木

八枝校区 第三次

概要版

ふくしのまちづくり計画

見守り・ふれあい・支えあい



2027

見守り・ふれあい・支えあい

この計画は、八枝校区社会福祉協議会が中心となって関係団体等と連携して、地域住民の福祉のまちづくりを推進するための5カ年計画です。

第一次、第二次計画の成果や課題を踏まえ、これからも、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず見守り、ふれあい、支えあえるまちづくりを目指して、4つの基本目標と17の取組みを2023年から2027年まですすめていきます。

これまでの取り組みの成果



第一次(2013~2017年) ▶▶▶ 3つの自治区会内に4つのサロンを開設し、気軽に参加できる居場所づくりを進めました。また、「助け合い活動構想」を掲げ、地域通貨を活用した助け合い活動や新たな助け合い活動の組織づくりについて住民説明会などを開催しました。

第二次(2018~2022年) ▶▶▶ 行方不明高齢者搜索模擬訓練や認知症予防講座など身近な生活課題に対応できるような住民啓発をまちづくり協議会や市民センターと連携して開催したり、連絡調整会議に社会福祉施設の専門職に参加していただくなど、多様な団体との連携を強化しました。

◆ 4つの基本目標と17の取組み

基本目標	<p>福祉の心を育てよう</p>	<p>心と体を健康に、 仲の良い隣人を増やそう</p>	<p>みんな仲良く助け合い、 安心して住める まちづくりを目指そう</p>	<p>地域における 福祉力を強くしよう</p>
方向性	<p>福祉活動の広報啓発や福祉の学びを通して、地域に福祉の風土を広げます。</p>	<p>誰もが気軽に通うことの出来る地域交流の場づくりや既存の活動と連携して、住民間のつながりを強めていきます。</p>	<p>生活上の困りごとや災害時に備えるために、地域で安心・安全の助け合いの仕組みづくりを行い、住民同士の助け合いの輪を広げます。</p>	<p>福祉協力員の発掘や育成、活動財源の安定的な確保に向けて、地域の福祉力を強化します。</p>
主な取組み	<p>(継続) 広報紙やつえしやきょうの発行 ・記事の役割分担 ・地域活動に関わる施設より記事を提供 ・お助け隊事業のコーナー</p> <p>(継続) ホームページの活用</p> <p>(継続) 認知症予防講座</p> <p>(継続) まち協、市民センターと連携したふくし講座</p> <p>【新規】 子ども向けふくし教育</p> <p>【新規】 行政や市社協の出前講座の活用</p>	<p>(継続) オープンスペース(サロン活動) ・他校(地)区サロンの視察、情報交換 ・まちかど介護相談室など施設との連携 ・お助け隊事業との連携(困りごと相談) ・多世代が参加できるプログラムの検討</p> <p>(継続) ふれあい茶話会</p> <p>(継続) ふれあい昼食交流会 ・参加要件や企画・送迎等の見直し</p> <p>【追加】 子ども食堂の交流支援 ・サロン活動と連携した居場所づくり ・3自治区会での子どもの居場所づくりの検討</p>	<p>【継続・重点】 助け合い活動(お助け隊事業) ・地域生活支援活動推進事業の活用 ・新たなボランティア活動者の発掘</p> <p>【新規・重点】 みんな de Bousai まちづくり推進事業との連携 ・各団体の役割分担(福祉部門の把握)</p> <p>(継続) ふれあいネットワーク活動 ・施設職員等専門職との関わり強化 ・お助け隊と連携した助け合い活動</p> <p>【追加】 買い物バス「ひまわり号」の運行</p>	<p>(継続) 福祉協力員への研修、新規発掘と育成 ・福祉協力員研修の開催 ・若い人材発掘を目指した、誰もができる活動の検討</p> <p>(継続) 赤い羽根共同募金活動 ・活用事例などの周知</p> <p>(継続) 賛助会員加入普及活動 ・地域住民への周知、集金時期の見直し</p>